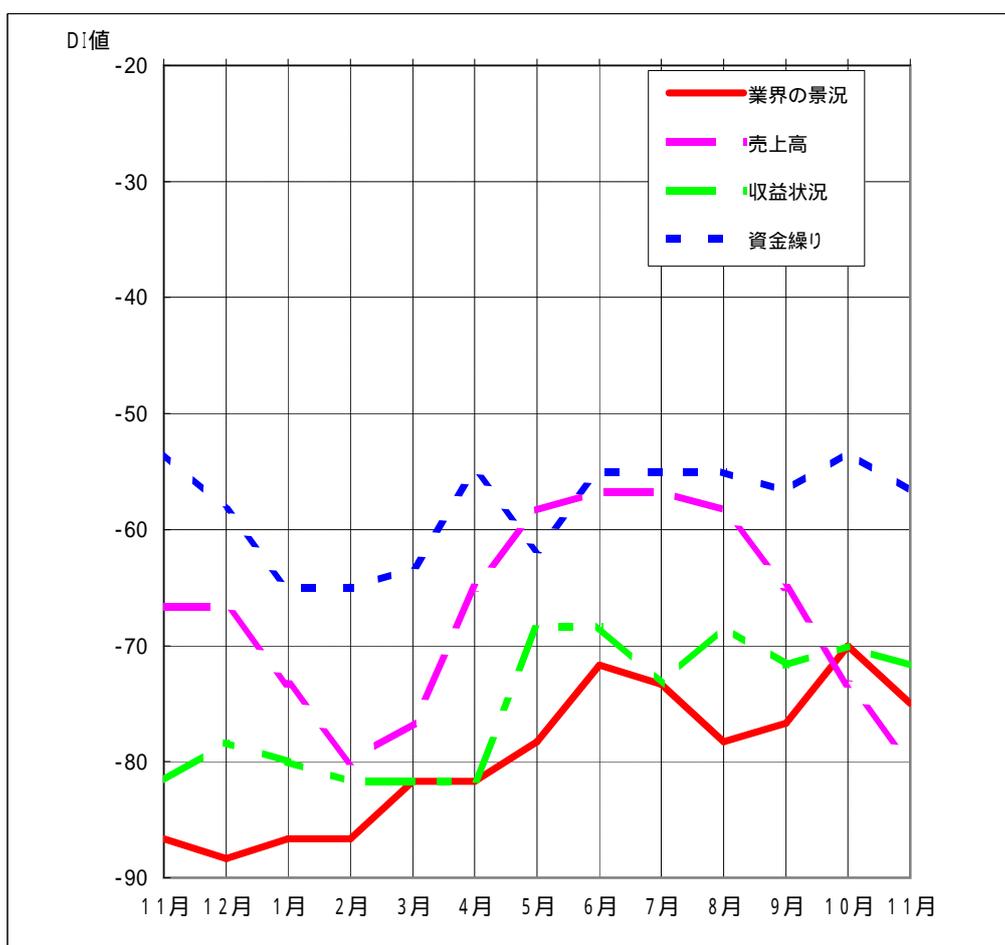


## 業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成20年11月～平成21年11月

単位:ポイント



	H20		H21										
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
業界の景況	-86.7	-88.3	-86.7	-86.7	-81.7	-81.7	-78.3	-71.7	-73.3	-78.3	-76.7	-70.0	-75.0
売上高	-66.7	-66.7	-73.3	-80.0	-76.7	-65.0	-58.3	-56.7	-56.7	-58.3	-65.0	-73.3	-80.0
収益状況	-81.7	-78.3	-80.0	-81.7	-81.7	-81.7	-68.3	-68.3	-73.3	-68.3	-71.7	-70.0	-71.7
資金繰り	-53.3	-58.3	-65.0	-65.0	-63.3	-55.0	-61.7	-55.0	-55.0	-55.0	-56.7	-53.3	-56.7

11月の各項目DI値は前年同月比で見ると、「業界の景況」DI値で11.7ポイント、「収益状況」DI値で10ポイント改善したが、「売上高」DI値で-13.3ポイント、「資金繰り」DI値で-3.4ポイント悪化した。前月比で見ると全項目悪化しており、中でも、「売上高」DI値は8月期以降4ヶ月連続で悪化している。

組合の特記事項からは、一部の企業で受注の減少幅の縮小などの声も聞かれるが、製造業、非製造業を問わず、総じて受注・売上は低調であり、厳しい状況が続いている。製造業では、長引く不況、円高の進行などで、受注が少なく収益環境の厳しい企業が多く、非製造業でも消費の停滞に悩まされている企業が多い。商店街においては「大和撤退ニュース」で来街者数にマイナス影響もあるようだ。